

令和6年(2024)7月教育委員会定例会 会議録

令和6年(2024)7月23日(木)午後2時00分、出雲市教育委員会定例会を出雲市役所3階大会議室に招集した。

(1) 会議に出席した者

教育長	杉谷 学
委員(教育長職務代理)	高橋 詠
委員	川田量子
委員	奥 康人
委員	布野和弘

(2) 欠席した者

なし

(3) 説明のため会議に出席した者

副教育長	金築健志
教育部次長(児童生徒支援課長)	山崎 創
教育部次長(学校教育課長)	矢田和則
教育政策課長	栗原真奈美
教育施設課長	古川 薫
学校給食課長	山内泰治
出雲科学館館長	鬼村修治
保育幼稚園課長	園山博之
学校教育課主査	岩崎慎一
学校教育課課長補佐	園山正樹
児童生徒支援課課長補佐	小林 剛

(4) 会議の書記

教育政策課主査	池尻精二
---------	------

(5) 傍聴者

0名

開会

(杉谷教育長)ただいまから、令和6年7月出雲市教育委員会定例会を開会します。本日の会議は、お手元に配付しております日程のとおりでございます。

1 出雲市教育委員会感謝状の贈呈

(杉谷教育長)まず、はじめに、出雲市教育委員会感謝状の贈呈を行います。教育政策課 栗原課長 お願いします。

(一同起立・整列)

(栗原教育政策課長)ただいまから、出雲市教育委員会感謝状の贈呈を行います。本日、感謝状を贈呈する方は、先月 6 月定例会にて贈呈を決定いたしました出雲市立長浜小学校に関連いたします原 修三様と上津小学校に関連いたします畑時子様でございます。贈呈の前に、それぞれの方のご功績につきまして、ご紹介申し上げます。

(ご功績の紹介)

(栗原教育政策課長)先般、開催されました出雲市教育委員会 6 月定例会において、出雲市教育委員会感謝状贈呈要綱第 5 条の規定により感謝状贈呈が決定されましたので、本日、教育委員会感謝状を贈呈するものであります。それでは、杉谷教育長から、感謝状を贈呈します。杉谷教育長、順に前へお願いいたします。

(杉谷教育長) (感謝状を各被表彰者へ贈呈)

(栗原教育政策課長)それでは、ここで、みなさまから一言ずつご挨拶をいただきます。

(原 修三様) (挨拶)

(畑 時子様) (挨拶)

(栗原教育政策課長)以上をもちまして、出雲市教育委員会感謝状の贈呈を終了します。ここで、写真撮影を行いますので、みなさまお願いいたします。

(写真撮影)

(栗原教育政策課長)ありがとうございました。みなさまは、ここで退席されます

2 教育長行政報告

(杉谷教育長)次に、「教育長行政報告」を行います。

(以下、報告項目のみ掲載)

① これまでの動向 (令和 6 年 6 月 28 日以降)

R6. 6.28	定例記者会見
R6. 7. 1	社会を明るくする運動メッセージ伝達式(市民会館)
R6. 7. 2	市議会 6 月定例会本会議、閉会、全員協議会
R6. 7. 4	小・中学校校長会、新たな観光戦略推進本部会議
R6. 7. 5	出雲教育事務所長訪問
R6. 7. 8	島根県総合教育審議会(県教育庁)
R6. 7. 9	島根県市町村教育委員会連合会理事会(オンライン)

R6. 7.10	出雲市奨学事業運営委員会
R6. 7.16	ICT 活用教育視察(松江市)
R6. 7.17	県教育長の学校訪問(中部小、西野小)
R6. 7.22	教育政策審議会答申「今後の市立幼稚園のあり方について」
R6. 7.23	教育委員会7月定例会

② 今後の予定

R6. 7.24	定例記者会見
R6. 7.25	第2回都市教育長会(大田市)
R6. 7.26	市長と校長会との懇談会
R6. 7.29	市議会全員協議会
R6. 7.31	コミュニティセンター運営協議会
R6. 8. 4	戦没者追悼式典(市民会館)
R6. 8. 5	県・市町村教育長会議、学力育成会議(松江市) 子どものセーフティネット推進計画策定委員会(松江市)
R6. 8. 6	出雲市フレンドシップ事業、中学生サミット
R6. 8. 7	出雲市要保護児童対策地域協議会代表者会
R6. 8. 9	県知事・県教育長要望(県庁) 全国施設分離型義務教育学校の集い(江府町)
R6. 8.10	出雲神話まつり
R6. 8.20	教育委員会8月定例会

3 会議録の承認

(杉谷教育長) 続きまして、会議録の承認に入ります。前回6月定例会の会議録につきまして、ご意見等ございますでしょうか。

(各委員) なし。

(杉谷教育長) 特にご意見等がありませんので、6月定例会の会議録については承認することといたします。署名を会議終了後にお願いいたします。

4 議事

(杉谷教育長) それでは、議事に入ります。まず、「議第29号 出雲市立学校における地域学校運営理事会理事の辞任及び任命について」を議題といたします。教育政策課 栗原課長に説明をお願いします。

(栗原教育政策課長) (資料を用いて説明)

(杉谷教育長) さきほどの、説明に委員のみなさまから質疑がございませんでしょうか。

(各委員) なし。

(杉谷教育長) ないようでございますが、「議第 29 号 出雲市立学校における地域学校運営理事会理事の辞任及び任命について」を承認することについて、ご異議ございませんでしょうか。

(各委員) 異議なし。

(杉谷教育長) 異議なしと認めます。「議第 29 号 出雲市立学校における地域学校運営理事会理事の辞任及び任命について」を承認いたします。次に「議第 30 号 学校薬剤師の解嘱及び委嘱について」を議題いたします。教育政策課 栗原課長に説明をお願いします。

(栗原教育政策課長) (資料を用いて説明)

(杉谷教育長) さきほどの説明につきまして、委員のみなさまから質疑がございますでしょうか。

(各委員) なし。

(杉谷教育長) これは、任期はなしということによろしいですか。

(栗原教育政策課長) 任期は、ありません。

(杉谷教育長) 特に委嘱の方の任期はないということでございます。「議第 30 号 学校薬剤師の解嘱及び委嘱について」を承認することについて、ご異議ございませんでしょうか。

(各委員) 異議なし。

(杉谷教育長) 異議なしと認めます。「議第 30 号 学校薬剤師の解嘱及び委嘱について」を承認いたします。次に、「議第 31 号 出雲市立幼稚園における幼稚園運営協議会委員の辞任及び任命について」を議題いたします。保育幼稚園課 園山課長に説明をお願いします。

(園山保育幼稚園課長) (資料を用いて説明)

(杉谷教育長) 先ほどの説明につきまして、委員の皆様から質疑がございますでしょうか。

(各委員) なし。

(杉谷教育長) 質疑ないようでございます。「議第 31 号 出雲市立幼稚園における幼稚園運営協議会委員の辞任及び任命について」を承認することについて、ご異議ございませんでしょうか。

(各委員)異議なし。

(杉谷教育長)異議なしと認めます。「議第31号 出雲市立幼稚園における幼稚園運営協議会委員の辞任及び任命について」を承認いたします。以上で議事を終了いたします。

5 報告

(杉谷教育長)続いて報告事項に入ります。「報告(1) 7月9日からの大雨に関する教育委員会の対応について」、報告させていただきます。教育政策課 栗原課長に説明をお願いします。

(栗原教育政策課長)(資料を用いて説明)

(杉谷教育長)大雨に対する教育委員会の対応ということで、報告させていただきましたけれども、みなさま方から、さきほどの説明について、質問等ありますでしょうか。奥委員。

(奥委員)この度、このように発災しまして、私はテレビとかでも拝見をしたのですけれども、教育長におかれましては、まずもって現地の方で陣頭指揮に入っていて、それから職員のみなさんも本当に朝早く、多分もう寝ていらっしやらないのではないかなと思うのです。こういった対応にご尽力いただきましたことにお礼を申しあげたいと思います。とは言え、大変状況がずっと続いているわけでございます。教育長にお伺いしたいのですけれども、現地に入られて、日を追うごとにいろいろな状況が多分変わってきていたと思うのですけれども、何かその保護者の方々とお話をされる中、あるいは地域の方々とお話をされた中で実感されたといえますか、ちょっとコメントをお聞かせいただければと思います。

(杉谷教育長)9日の降雨によって道路が崩落をしたということです。当然、学校に通えない状況になったということは、すぐ見てとれました。教育委員会として、まずすべきところの1点目は、子どもたちの安全確保をしっかりと図られているのかということ。もう1つは、先ほど報告しましたように学校に通えないとすると、学習をどう保障するかということの大きく2点が私の頭の中にありました。幸いに、道路は崩落しましたが、電気それから水道は確保されていたということと、それに伴って、携帯電話等の通信も、ある程度確保されていたということがおそらく住民の皆様にとっては、ある意味の安心感であったかなというふうな思いがあります。そういう中で、子どもたちの家に被害があったというようなこともなかったということもあり、その部分は安心できたのですけれども、次の段階の学習保障というのをどうするかということがありました。考えている中で、実は、9日から10日にかけての夜間にも雨が降り続くと、それから避難指示も各所で出ているという状況がありました。本来は、10日をどうするかということも考えなければいけなかったのですけれども、避難所が開設され

ている地域の子どもを学校に登校させるということは、ふさわしくないだろうと考えました。市内でも、発令されている地域とそうでない地域があることも承知はしていました。どういう状況に、変化するかわからない中で、10日は臨時休業を全地域で実施しようということを決定しました。この決定が3時過ぎだったと思います。これによって、孤立した日御碕の子を含む大社小学校も臨時休業となったということもあって、私たちにとっては少し手立てを考える余裕が、10日の1日あったということもあります。そういう中で、先ほど徒歩で迂回できる道はあったということでしたけれども、私有地ですので、勝手に通るといことは、その持ち主の方の承諾がない限りできないということもありました。市の担当課もここを何とか歩かせてもらえないかということを経営者と交渉されて、その許可が出たというのは10日でした。許可が得られれば、人が歩いて行かせられるということで、私としては、向こうで授業をなんとかできないかということを考えていたのです。事務局の皆さんがしっかり対応してくれて、学校に置いていたタブレットを用意してもらって、現地に運んで、子どもたちに届けて、コミセンも地区の災害対策本部などが開催されるような段階ではあったのですが、和室を開放してくださるということの了解も取れて、そこに子どもたちを来させてくださいということを、メールにより保護者の方にお伝えをして、当日小学生11人と、中学生4人が来てくれました。こちらから2人の指導主事を派遣して、授業をしたということです。代替になったかどうかわかりませんが、少なくとも学校には行けなかったけれど友達と一緒に勉強できたという、そういう1日になったかなというふうに思いました。翌週16日からの目途を立ててあげないと、保護者の皆さんにとっては子どもたちも学校どうなるのだということ。しかも、学期末が近づいている。これも本当に、担当が非常に苦労してくれましたけれど、スクールバスのその回転場とか待機場所というのを調整してくれて、何とか運行できそうだというめどが立ったものでして、12日にコミセンで、臨時の場を設けたところに、迎えに来た親さん方に残っていただいて、私の方から直接お話をさせていただいたということです。何よりも保護者の皆さんの不安を軽減するには、私が行って、直接話をすることが必要ではないかなと判断して、行かせていただきました。繰り返しますが、ライフラインが一定程度確保されていたということもあって、また保護者説明会の前に地区の災対本部の方とか、コミセンのセンター長さんとかに事前に、こういう話をしたいと思うということをお伝えしたときに、お互いさまなので、ここの地区の皆さんは協力し合ってやってくださるので、その思いをちゃんと伝えられたらいいですよと後押ししていただきました。説明した後、特にご意見とかということよりも、再開できたことの安心感というのをおっしゃってくださった方が多かったかなというふうに思いました。私からは、1学期の中学校で言うと3日間、小学校で4日間、なんとかご家族で送迎してくださいと。集まったところからは、こちらの職員が責任を持って学校まで送り届けますということをお伝えしましたので、そこは何かご理解いただいて、ご協力をいただいたかなというふうに思っています。19日が最終日でしたが、私も朝行きまして、保護者の方でお会いした方にお礼を言ったところなのですけれども、協力していただいて本当によかったし、何より子どもたちが学校に行き、終業式が迎えられたというのが一番大きかったというふうに

思います。今は、夏休み期間中ですので、中学生が部活で行く便は、一畑の臨時便で確保されていますけれど、日御碕側というのは、何か交通の便があるわけでもないというのは変わっていない状況です。何とか臨時的な道路でもついて、車が往来できるようになれば、少しは災害前に戻るかなという印象でおります。そういう意味で、能登半島地震と違ったのは、やはりライフラインが一定程度あったということの安心感というのは非常に、あるのだということは、直接感じました。

(奥委員)ありがとうございました。

(杉谷教育長)他にいかがでしょうか。高橋委員。

(高橋委員)まだまだ、いつぐらいまでとなると、行事がたくさん出てくるような2学期です。2学期に入るところには通らないのでしょうか。どのぐらいと言いましょか、見通しとかありますか。

(杉谷教育長)新聞報道を見る限りでは見通しが立ってないと報道です。なかなか迂回路についても、ボーリング調査をしてからということのようですから、なかなか時間かかるかなという印象を持っています。

(高橋委員)小学校の下校時間が3時20分ぐらいでしょうか。何年生がいらっしゃるのか、わかりませんが、一括で帰ってくるのでしょうか。

(杉谷教育長)これは学期末も近づいていましたので、子どもの下校時刻は、ほぼ全学年そろっていたということです。学校からこれは災害があるなしにかかわらず、運行計画を事前に出していた時間がそうだったことがあります。

(高橋委員)2学期以降、1年生と6年生では、帰る時間が変わってくるのではないかなと思います。皆さんの対応がちょっと大変になってくるのではないかなと思うのです。何とか、迅速に対応していただいて本当に感謝しております。それこそ学校に行けない状況とかができない、なくなるのが一番いいです。時間的なこともこれからいろいろこう変わってくるのではないかなと思いますので、その対応がまた大変になってくるのではないかなと思います。子どもたちが学校に通うのを、テレビの報道で見させていただいて、もうちょっと安心はしておりますので、また、対応をよろしくお願いいたします。

(杉谷教育長)1週間か半月前かには、この日は何時の便でという時間を、学校から運行委託している業者に出されますので、それで便が確定するのだと思います。今、お示ししているのは、学期末で時間が揃っていたので、1便ずつで済んでいたということです。2学期以降は、道路の復旧状況がどうなのかも含めて、注視していかないといけないなと思っています。他にいかがでしょうか。

(各委員)異議なし。

(杉谷教育長) それでは報告(1)については、以上とさせていただきます。次に、「報告(2) 教育委員会の後援について」、教育政策課栗原課長からお願いします。

(栗原教育政策課長) (資料を用いて説明)

(杉谷教育長) この後援につきまして、ご質問ございますか。

(各委員) なし。

(杉谷教育長) 質疑がないようですので、以上で報告事項を終わります。

6 次期教育委員会の開催時期

(杉谷教育長) 委員の皆様、あるいは事務局の方から何かありましたらお願いいたします。布野委員。

(布野委員) 先般の雨で、下校する時間体に集中したもので、私もちょっと心配で、近隣地区の登下校する道を歩いたのですが、ほとんどくるぶし以上のところがかかりありました。それで、学校に行ってこことここは、もう膝上まであるので、通行できないよという指示はしたのですが、それ以外にもいろんなところで冠水している、登下校する道がありました。結局、我々も先生方と一緒に、分団会の班と一緒に、先生方前と後ろで、私も地元の者として道を知っている限りのところで、先生方を誘導した形で、ある方向によりますけれども、大体50人から60人ぐらい一緒に、先生方は、その間に10人ぐらい配置してもらって、一緒に学校から家まで送って帰ったのです。やはり迂回していかないといけなくて、子どもたちも大分怖がっていました。中には、低学年の子どもさんは、水圧でちょっと押されたりして、こけたりしてびしょびしょになった子どもさんもいました。今後のことを考えると、通学路で雨が降って冠水するような天候があった場合は、迂回ルートのこともこれから考えていかないといけない。子どもたちが危ない中で、ああいったところを歩くということは、私も経験して、流れの圧があるところもありました。怖いなということで、水路も用水路もあるし、蓋がないところも結構ありました。そこに大人の人でも落ち込んだ人もいました。警察官の人もいろいろ立ってもらい、交通安全対策の皆さんにも協力してもらい、部所部所に立って、誘導してもらったのですが、慣れない道だということと、皆さん恐怖感が子どもさんたちあったみたいです。時間も結構かかったので、今後、迂回路を考えることも、PTAの皆さんや地域の皆さんと考えていかないと、もし、事故があった場合には、大変なことになるかなと思い、気になりましたので、報告させていただきます。

(杉谷教育長) ありがとうございます。地域の方でそうやって、下校を見ていただいたということです、神戸川小学校も下校を早めた学校の1つではあったの

ですけれども、早めてもその状況だったということです。今回、市街地が結構、冠水したというか、臨時休業を10日にしている、三中校区もそうですし、それから南側も、塩冶、古志、神門、あの辺もかなり冠水をしたようです。逆に山間部が降ってないというような、そういう降り方をしたものです。本当にそういう意味では、子どもたちをどういうタイミングで帰すのかということの判断が難しかったかもしれません。地域で子どもを見守っていただいたことには本当感謝をします。なかなか迂回路というのがあるのかどうかというのは、ちょっとわからないと思うのです。

(布野委員) 先生方には、わからなかったと思うのです。先生方も大変苦勞されて、傘もささずに、子どもたちをかばうのが精一杯だったのです。大変だったなというのが、今回の印象でした。

(杉谷教育長) これも1つの、災害の教訓かなというふうに思います。ありがとうございます。それでは、次期、教育委員会の開催時期についてですが、8月20日火曜日 午後2時から、大会議室、この部屋で開催したいと思います。よろしく願いいたします。では、以上をもちまして令和6年7月、出雲市教育委員会定例会を閉会といたします。

(栗原教育政策課長) 皆様、ご起立願います。一同 礼。

【閉会】(午後3時1分)